

世界中の教育・文化機関によるバーチャル交流プロジェクト。
（他言語学習者や日本に関する専門家の協力のもと）
スペイン語学習者が、広島、長崎、そして原子爆弾に関する
文学作品の断片を通じて平和について考察することを目的と
しています。このプロジェクトは、両都市の被爆 80 周年の
取組の一環として行われます。

SOBRE-VIVIR 80 AÑOS

Hiroshima, Nagasaki y las lenguas para la paz



世界中の作家たちは、80 年近くにわたり原爆
投下について思いを巡らせ、それについて執筆
してきました。あなたの母語の文学作品には、
どのように書かれていますか？

これは、スペイン語学習者にとり、翻訳を練習
しながら世界 の平和について他国の学生と
考える良い機会です。

文学作品の短い一節を翻訳しましょう。
そして、「SOBRE-VIVIR 80 AÑOS」（80 年を生き
抜いて）という バーチャル朗読会に参加
しましょう。朗読会は、2025 年夏、日本および
世界の主要な機関で配信されます。

**スペイン語学習者、スペイン語教師、
外国語を学ぶスペイン語母語話者、
日本に関する専門家の皆さま、
ぜひ、ご参加を！**

「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

Languages are the foundation to link the world in peace



UN PROYECTO QUE CONVOCA A
ESTUDIANTES DE LENGUA ESPAÑOLA
EN JAPÓN Y EL RESTO DEL MUNDO,
A UNIR SUS VOCES POR LA PAZ,
EN EL 80 ANIVERSARIO DE
LOS BOMBARDEOS ATÓMICOS



Prof. Silvia Lidia González (KUIS), Japón.
Contacto: silvia-g@kanda.kuis.ac.jp

Más información:

